



ヨコハマ会 市議員団
子どもにツケをまわさない!
“横浜から日本を創る”
横浜市議 おばた正雄氏

〈プロフィール〉

金沢区生れ。旧民社党政策審議会
で各種政策を研修。昭和54年よ
り横浜市議。現在9期。ヨコハマ
会市議員団代表。一貫して教育・行
財政改に取組。6年前民主党離党。
現在、無所属。憲法改正と日本の
安全に責任を持つ保守新党を模索
中。神奈川の教育を良くする会会
員。日本会議会員。自衛隊募集相
談員。各スポーツ・文化団体顧問。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所：金沢区谷津町 332
TEL：045-783-7869
FAX：045-786-5315
✉ obatamasao@gmail.com

予算市会報告① 金沢区柳町に津波避難施設は必要?
市債発行額17.6%増! 財政規律が課題

横浜市の平成26年度の予算は1兆418.2億円を審議する予算「待機児童ゼロ」を継
市会は、1月31日 続するため、保育所整
日から3月25日 備費用を前年度比で倍
日まで開催さ 増したほか、防災対策
れ、連日真剣な として学校や橋梁など
調査と議論を行 公共インフラの耐震補
つています。
横浜市が発表 市債発行額は17.6%
した新年度の当 増。国の経済対策を踏
初予算は実は、 まえ25年度2月補正
一般会計の総額 予算と一体で「15か月

予 算」として編成。
Q: 歳入は?
A: 市税収入は71.8
3億円(前年度比2.
8%増)。景気回復を
受け法人市民税が前年
度見込み額を20%上
回る65.8億円と大幅
増に。個人市民税は2
8.98億円(前年度の
0.9%増)。市債発
行額は、140.0億円
(17.6%増)。市立学

設の整備費では保育所
校の修繕や金沢区など
3区の区庁舎建設耐震
工事、公共インフラ施
設の整備等にあてま
す。
Q: 歳出は?
A: 福祉・保健・医療
などにかかる扶助費
は、前年度から15.7
億円(3.9%増)の
41.59億円。保育所
運営費と生活保護経費
等が増加しています。
人件費は1.5%減の
203.8億円。公共施
設の整備費では保育所

整備費用を前年度の2
倍の48億円に。
Q: 市の借入金金は?
A: 一般会計の歳入は
市税収入が71.83億
円で2.8%増。市債
は140.0億円で17.
6%増え、これについ
て市は借入金残高の縮
減に加え、新たに「債
務返済指数」という財
政規律の指標の導入を
検討していると説明し
ていますが、この是非
について議論が集中す
ると考えます。

Q: 柳町に津波避難施
設が必要ですか?
A: 財政が硬直化して
いる中では、歳出を見
直し、不要不急な事業
は中止させなければな
りません。一例をあげ
れば金沢区に關係する
事業では、津波に対す
る避難場所の確保事業
があげられます。金沢
区の野地町区と柳町地
区に津波避難施設を整
備する事業に2億1
000万円計上されて
いますが、最近、国と
県で地震対策の見直し
が行われている中でな
ぜ、柳町にこの施設が
必要なのか十分な検討
が行われたのか大変疑
問です。予算市会の中
で十分議論を行いま
す。(次号に続く)

Q: 歳出の課題は?
A: 歳出は人件費や扶
助費など義務的経費が
807.2億円と2.
6%増え、歳出に占め
る義務的経費の割合は
56.9%となり、ます
ます財政が硬直化傾向
にあり、財政規律が大